

73. <i>Somadasys brevivenis</i> Butler	ギンモンカレハ	目撃
Bombycidae カイコガ科		
74. <i>Bombyx mori mandarina</i> Moore	クワゴ	目撃
75. <i>Oberthürria falcigera</i> Butler	オオクワゴモドキ	1♂
Thyatiridae トガリバガ科		
76. <i>Lithocharis maxima</i> Leech	ナガトガリバ	1♀
Drepanidae カギバガ科		
77. <i>Callicilix abraxata abraxata</i> Butler	マダラカギバ	1♂
78. <i>Macrocilix mysticata watsoni</i> Inoue	ウスギヌカギバ	目撃
79. <i>Derocha inconclusa phasma</i> Butler	ホシベッコウカギバ	1♀
80. <i>Nordstroemia japonica</i> Moore	ヤマトカギバ	1♀
81. <i>Agnidra scabiosa fixsemi</i> Bryk	マエキカギバ	目撃
82. <i>Tridrepana crocea</i> Leech	ウコンカギバ	目撃
83. <i>Oreta pulchripes</i> Butler	アシベニカギバ	1♂

## 兵庫県 の ナガツツハムシ (兵庫県甲虫相資料. 81)

高橋 寿郎

筆者は兵庫県のハムシ類をまとめて発表した際当然このナガツツハムシ類の報告をしたのであるが(1968)その後の調査で分布の追加があるものとか新に当県に分布していることがわかった種などもあるので現時点でこの類の兵庫県における分布状況をまとめておき度いと思う。

Subfamily Clytrinae ナガツツハムシ亜科

この亜科の日本産は3属、9種であるが兵庫県には3属6種を分布している。

### 1. *Clytra laeviuscula* (Ratzeburg) ヨツボシナガツツハムシ

日本からはBalyによりカシワ上で見つけた1頭のHiogo産でもつて初めて紹介された(1873)。兵庫県下では概して個体数の少い種のようなのである。岩田久二雄博士は唐櫃のハギの葉上で本種の♂♀を採集され(1976年7月15日)(博士にとっても3回目の出会であつたと)、卵の図説をされている(1978)。

食草はハギ類、カンバ類、ヤナギ類として知られているがわが国での詳しい生活史はまだないようである。フアブルの昆虫記にはこの属のヨーロッパでの観察が述べられている(岩波文庫、昆虫記第14分冊)し幼虫はアリの巢内で寄生生活することが知られていると(竹中, 1975)。

産地のデータから成虫は7月に活動しているようである。

六甲山での採集は紅葉谷の途中であり石田氏のものもその地点である。小林氏の手許に保管されている六甲山産数匹の本種は採集場所をお聞きしなかったが岩田博士の唐櫃産と合せ考えて六甲の北側斜面には割合いるのかもしれない。

産地: 川辺郡猪名川町杉生新田〔仲田, 1979〕<sup>X</sup>。Hiogo〔Baly, 1873, Heyden, 1879〕。神戸市御影〔関, 1933〕, 六甲山〔Some exs., 小林桂助氏採集, 高橋確認〕(1 ex., 3-VII-1950, 2 exs., 15-VII-1956, H. Ishida leg.), 唐櫃〔岩田, 1978〕。氷上郡粟鹿峰〔山本, 1953, 1958〕。豊岡市大磯〔高橋, 1975〕。養父郡氷の山〔高橋, 1975〕。美方郡扇の山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972〕。

## 2. *Coptocephala orientalis* Baly ズグロヨツボシナガツツハムシ

本種はHiogo産標本により命名記載された種であるが詳しいデータは無い。何頭かは採集されていると思われる(記載に♂♀の違いを記してある)。その後次のように僅かの記録しかなく県下では大変珍しい種である。京都府あたりには割合いるようであるが出現期が8~9月のようであるので(京都の場合5~7月)さらに詳しく調べる必要がある。食草としてはカワラヨモギが知られている(中条, 木元, 1961)。生活史はわかっていない。

産地: Hiogo〔Baly, 1873〕。西宮市武庫川〔5 exs., 7-VIII-1957, Y. Wada leg., 木元, 1964〕。神戸市烏原(1 ex., 1-IX-1942)。

## 3. *Smaragdina aurita* (Linnaeus) キボシナガツツハムシ

カンバ, ヤナギ, エゴノキなどの葉を食べる。成虫は6月に現われる。卵は糞でつままれ, 幼虫は糞ケースに入つて成長し越冬する。結構多くいる。

産地: 川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田, 1978〕。神戸市二十渉(1 ex., 26-VI-1955), 烏原(1 ex., 18-VI-1939, 1 ex., 13-V-1971, 1 ex., 11-VI-1967), 山の街(1 ex., 26-VI-1941, 1 ex., 7-VI-1959)。氷上郡柏原〔山本, 1953, 1958〕。多可郡加美町三谷(1 ex., 9-VI-1975)。相生市三濃山(1 ex., 1-VI-1974)。養父郡氷の山(7 exs., 27-VII-1956, 1 ex., 21-VII-1958, 4 exs., 24-VII-1959)。美方郡扇ノ山〔辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975〕。

---

<sup>X</sup>〔 〕の中のものは文献からの引用, ( )の中のものは筆者採集並びに所有標本。

4. *Smaragdina garretai* (Achard) キムネナガツツハムシ

体は黒色で青藍色を帯び光沢があり前胸背板・触角・口部・肢は明黄褐色の美しい種である。前種と同じで雌の第5腹板の中央にくぼみがある。神戸市の道場でも多く採集出来ているし、多可郡の鳥羽でヤナギに物凄く集っているのにも遭遇したことがある。カンバ、ヤナギ、スイバ類を食べる。県下に広く分布していると思われる。

産地：洲本市先山〔大野，1969〕。川西市笹部〔仲田，1978〕。神戸市道場（8exs.，5-V-1958）。Harima〔Fleischer，1916〕。多可郡加美町三谷（5exs.，24-V-1975），鳥羽（30exs.，8-V-1976）。神崎郡大河内町川上（1ex.，7-V-1977）。佐用郡大撫山（2exs.，2-V-1978）。宍粟郡波賀町原（1ex.，11-V-1979），音水（7exs.，13-V-1973）。氷上郡神楽村〔山本，1953，1958〕。城崎郡三川山〔高橋，1976〕，養父郡氷の山（1ex.，5-V-1958）。

5. *Smaragdina nigrifrons* (Hope) クロオビツツハムシ

体は黒色，前胸背，小楯板，上翅は橙黄色，前胸上翅基部，中央後部に黒色紋がある。全般に光沢がありなかなか目立った美しいハムシである。生態はよく知られていないがナツフジを食べることが知られている。♂は肢がやゝ太い。

従来兵庫県下での記録の無かった種であるが筆者は1974年7月20日相生市三濃山の登山口でカヤの葉上にとまっていた7♂♀を採集したのが県下での初めての記録である。その後注意して調べているが見つかっていない。1980年8月1日飾磨郡夢前町我孫子の谷でやはりカヤの葉上で1♀が採集出来た。今の所これだけしか県下から知られていないが最盛期が猛暑の候のようであるので調査すればもっと県下に広く分布していると考えられる。

産地：飾磨郡夢前町我孫子（1♀，1-VIII-1980）。相生市三濃山（4♂，3♀，20-VII-1974）。

6. *Smaragdina nipponensis* (Chūjō) キイロナガツツハムシ

黄赤褐色光沢がある。神戸市内では戦前から採集されていた。県下での分布はそれ程知られていないがウリハムシと混同して採集されていないのかもしれない。とに角神戸市内では極めて普通に産する（5月が一番多い）。詳しい生態はわかっていないがカワヤナギ，クヌギが食草と言われている。神戸あたりではコナラ等からも得られる。最近浜坂町でも記録が出ているので県下に広く分布している種と考えてよいと思う。

産地：洲本市先山〔大野，1969〕。三原郡成相峠〔大野，1969〕。川辺郡猪名川町民田〔仲田，1970〕，上阿古谷，木間生〔仲田，1978〕。川西市笹部〔仲田，1970，1978〕。神戸市六甲山（1ex.，5-VI-1943），摩耶山〔中条，1951〕，保久良山（1ex.，1-

V-1975, 4exs, 12-V-1978), 布引(1ex., 17-V-1959), 二十渉(1ex., 26-VI-1955), 烏原(2exs., 16-V-1971, 8exs., 23-V-1971, 7exs., 30-V-1971, 1ex., 5-V-1973, 2exs., 19-V-1974, 1ex., 26-V-1974, 1ex., 9-VI-1974, 1ex., 18-V-1975, 1ex., 25-V-1975, 1ex., 22-V-1977, 3exs., 29-V-1977, 2exs., 21-V-1978, 1ex., 18-V-1979, 1ex., 24-V-1979, 1ex., 25-V-1979, 1ex., 26-V-1979, 1ex., 14-V-1980, 2exs., 19-V-1980, 2exs., 29-V-1980, 2exs., 5-VI-1980, 1ex., 6-VI-1980), 山の街(2exs., 19-V-1959, 1ex., 7-VI-1939), 丹生山(3exs., 5-V-1956). 多可郡白山(2exs., 3-V-1973), 三谷(1ex., 8-VI-1975). 豊岡市妙楽寺[高橋, 1975] 美方郡浜坂[磯野, 1980].

(8-XII-1980)

## 家島群島の昆虫(2)

上田尚志

鱗翅目(蝶) : 追加

新たに2種を記録できた。これで家島群島で確認された蝶は9科37種となった。また、前報でもふれたアサギマダラは、その後も何度か目撃し、うち一頭を採集した。これは、単に台風等の影響というだけでなく、本種の移動性を持った生態と関係しているかも知れない。

Satyridae ジャノメチョウ科

5. *Melanitis phedima* Cramer クロコノマチョウ

31-X-1980 本島

家島本島の天神鼻にある自然林の中で、シイの実を拾っていて偶然に採集できたものである。足元から急に飛び立ち、上下に揺れるようにしばらく飛んだのち、枯れ葉の上に静止したところを素手でつかまえた。近くにススキもあるが、島内で発生しているかどうかは、わからない。

Hesperiidae セセリチョウ科

4. *Pelopidas mathias oberthueri* Evans チャパネセセリ

16-X-1980 坊勢島(桂造)